



自閉横水栓

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、自閉横水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



必ず実行していただく「強制」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。

施工上のご注意



必ず実行

- 施工する際、必ず軍手などをご使用ください。手などにケガをする恐れがあります。
- ハンドル操作により、水栓取付口の配管に負荷が加わることが想定されますので、不安定な配管への設置はしないでください。施工の際は配管の強度に十分に注意してください。
- 定期的に、配管周りの漏水や、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・ケガをしたり、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、流量調節弁または配管中の元栓を閉めてください。漏水などの原因になります。



禁止

- 凍結の可能性がある場所には取付けないでください。凍結により器具が破損および故障する恐れがあります。
- 「インパクトドライバー」、「振動ドリル」などの振動を与えて加工する工具は使用しないでください。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・ケガをしたり、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。
- 小さいお子様だけのご使用は避けてください。やけど・ケガをする恐れがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。



注意

施工完了後、各器具から漏水がないか確認してください。漏水により家財に損害を与える場合があります。

使用上のご注意



注意

施工直後は、吐水時間や流量が安定しない場合がありますが、故障ではありません。数回(10回程度を目安)のハンドル操作後、吐水時間と流量を調節してください。

製品仕様

使用流体	上水道水	使用圧力	0.1～0.75MPa	使用温度	5～45℃
------	------	------	-------------	------	-------

施工に必要な工具

●モンキーレンチ



●プラスドライバー



●マイナスドライバー



製品同梱明細・各部のなまえ

703-720-13

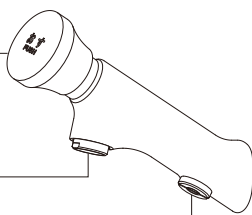
製品同梱明細	
自閉横水栓	○
取扱施工説明書	○
取扱シート	○
保証書	○

* 左記部材を同梱しています。

ハンドル

泡沫金具

流量調節弁



取付けの前に

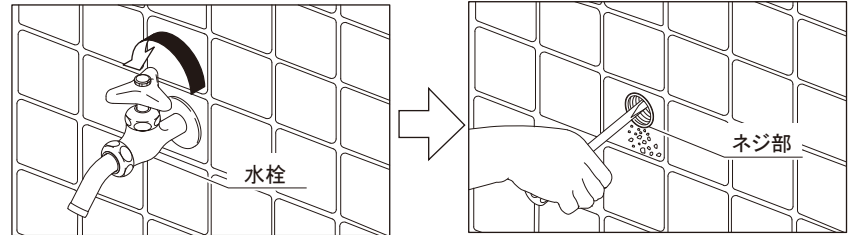
●使用条件(給水圧力)の確認

- * 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- * 快適にご使用いただくためには、0.2MPa程度の給水圧力をおすすめします。

取付方法

- * 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を開めて取付作業を行ってください。

1. 古い水栓を取外します。



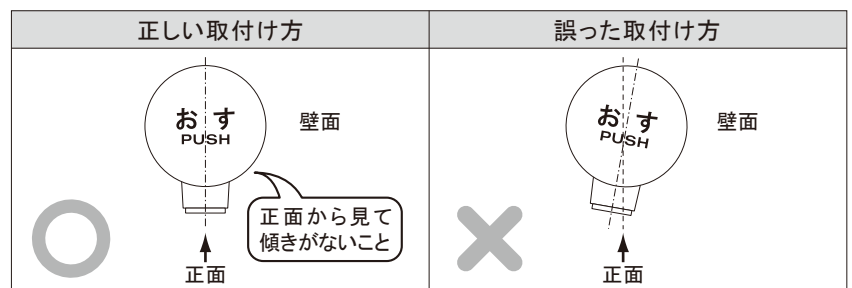
「水栓取外レンチ」などで水栓本体を左方向(時計まわりの逆方向)にまわして、古い水栓を取外します。
次に壁面内のネジ部を掃除します。



注意

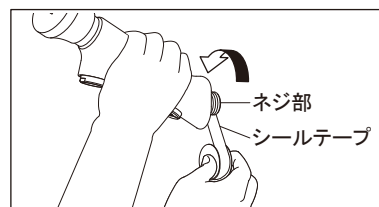
- 水栓本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- ネジ部にシールテープや接着剤が残っていると、漏水や故障の原因になります。必ずネジ部の掃除をていねいに行ってください。

2. 水栓の位置を確認します。

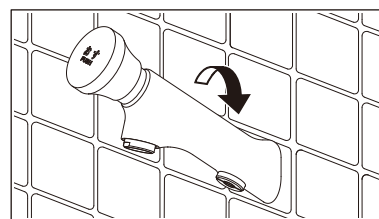


水栓本体をそのまま壁に取付けて正面から見て、傾きがなく壁面にあたるときの回転数を確認します。

3. 水栓本体を取付けます。



①左手で水栓をしっかり握り、右手で水栓のネジ部にシールテープをあてます。
そのまま軽く引っ張りながら右方向(時計まわり)に7～8回、全体に均等になるように巻付けます。巻終わりましたら、シールテープを強く引っ張りちぎります。



②水栓を右方向(時計まわり)にまわして取付方法2.で確認した回転数を参考に、正面から見てまっすぐの位置で止めます。



注意

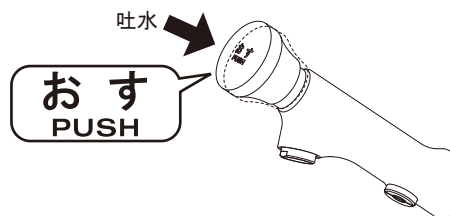
水栓を取付ける際、逆方向にまわしてゆるめると漏水の原因になります。ゆるめてしまった場合は、もう一度手順①からやり直してください。

●取付後の点検

- ①元栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。漏水が発見された場合は、元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを押しつけて連続通水したとき、水はねが少なくなるように流量調節弁を調節してください。(推奨範囲 5～8L/min)

使用方法

●ハンドルの操作方法



ハンドル上部の「おす・PUSH」の部分をおす(押す)と、一定量「吐水」したあと「止水」します。連続して吐水する場合は、ハンドルを押しつけてください。



注意

ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に操作しますとウォーターハンマー(衝撃音)が生じ、配管から漏水を起こす恐れがあります。

裏面へ続く➡

使用方法(つづき)

●吐水時間の調節

* 調節の前に・・・
流量を調節して吐水時間を確認します。

ハンドル
止めビス

①「プラスドライバー」でハンドル前側にある止めビスをゆるめ、ハンドルを手前方向へ抜取ります。

右回転・・・長くなる
左回転・・・短くなる
推奨範囲 5～15秒
短く
長く
スピンドル
調節ネジ

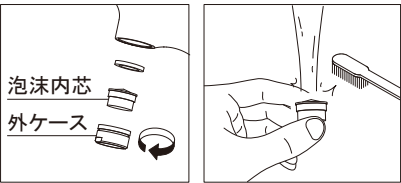
②スピンドルを「マイナスドライバー」で回転させて吐水時間を調節します。
* スピンドルを左回転にまわし過ぎると調節ネジが脱落することがありますのでまわし過ぎないようにご注意ください。

③ハンドルをスピンドルに取付け、ハンドルを押して吐水時間を確認します。

④調節が終わったら止めビスをスピンドルにしっかり止まるまで締付けてください。

お手入れのしかた

●泡沫内芯・ストレーナーのお掃除



最初ご使用になっていたより著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯・ストレーナーを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

* ストレーナーの外しかた

* お掃除の前に・・・
元栓を閉めて作業を行ってください。

ハンドル
止めビス

①「プラスドライバー」でハンドル前側にある止めビスをゆるめ、ハンドルを手前方向へ抜取ります。

②「マイナスドライバー」などを固定リング下側の切欠き部分に差込み、固定リングを取外します。

レンチ

③カートリッジの六角部に「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。

ストレーナー

④カートリッジのストレーナー部分に詰まったゴミなどの異物をブラシなどで水洗いします。

⑤①～④の逆の手順で組直してください。

* 固定リングを取付ける際は向きにご注意ください。

下側の突起を本体の切欠部に合わせる
上側の突起をハンドルの後方にする
固定リング
本体

お手入れのしかた(つづき)

●器具のお手入れ

おす
エンジン
研磨
研磨
研磨

いつまでも美しくご使用いただくために。

●水栓器具の金属部は・・・
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。

●水栓器具のプラスチック部・塗装面は・・・
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

注意

金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

分解図

703-720-13

ハンドル
固定リング
止めビス
カートリッジ
ストレーナー
本体
泡沫内芯
泡沫金具
流量調節弁

* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

こんな時には・・・ 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に上記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
吐水不良	吐水量が少ない	●流量調節弁が閉まり過ぎている
		●適正水量になるまで流量調節弁を調節する
		●泡沫内芯の目詰まり
	全く吐水しない	●ストレーナーの目詰まり
		●適正水量になるまで流量調節弁または元栓を開く
		●ストレーナーのゴミを取除く
吐水量が多い	吐水量が多い	●流量調節弁または元栓が閉まっている
		●適正水量になるまで流量調節弁または元栓を開く
		●流量調節弁が開き過ぎている
	吐水時間が長い	●適正水量になるまで流量調節弁を調節する
		●流量調節弁が閉まり過ぎている
		●適正水量になるまで流量調節弁を調節する
吐水時間が短い	吐水時間が長い	●適正水量になるまで流量調節弁を調節する
		●流量調節弁が閉まり過ぎている
		●適正水量になるまで流量調節弁を調節する
	吐水時間が短い	●流量調節弁が開き過ぎている
		●適正水量になるまで流量調節弁を調節する
		●吐水時間の調節が適切でない
止水不良	止水できない	●ストレーナーの目詰まり
		●ストレーナーのゴミを取除く
ハンドルが重い	ハンドルが重い	●カートリッジの異常
		●カートリッジを交換する

分解禁止

本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

●修理を依頼されるときは

上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体下側に貼付してあるラベルで確認してください。

* * 019 * ← 品番

000-000

●水と住まいの接点

株式会社 カフダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 大阪 ☎(06)6730-3391 札幌 ☎(011)704-1511

名古屋 ☎(052)504-1551 福岡 ☎(092)611-4611 仙台 ☎(022)239-8371

広島 ☎(082)278-2821

0215** M-B9860

無断転載・複写を禁ず